

日本語の「てしまう」の再定義および フランス語の対応表現について

プヨ・バティスト
(筑波大学大学院)

本発表は日本語の補助動詞「てしまう」の再定義およびフランス語の対応表現の明確化を目的とする。はじめに、これまで先行研究に挙げられてきたようなアスペクトを表す述語的要素としての「てしまう」の定義は不明確であることを証明する。そして、発話の場における意味の構築（意味化）を示す主体的要素として定義すべきであることを、「てしまう」の実例の文脈上の分析を通して明らかにする。この過程を経て示されるのは、「てしまう」のパラダイムを包括的に条件づける意味と発話のオペレーションである。最終的には、「てしまう」の作用の再定義をすることにより、それに該当するフランス語表現を精確に指し示すことができるようになる。